

(HP 掲載用)

令和8年3月10日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立第一中学校  
校長 原田 恵一

令和7年度 目黒区立第一中学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

- (1) 第1回実施日時 令和7年4月22日(火) 午前10時00分～午前11時00分
- ・令和7年度の学校経営方針について(校長より)
  - ・生徒の様子、学校行事、学校評価について(副校長)
- (2) 第2回実施日時 令和8年1月27日(火) 午前10時00分～午前11時15分
- ・授業視察(第2校時に視察)
  - ・学校評価結果の報告(校長)
  - ・意見交換

2 学校運営協議会委員(CS委員会)

- 小林 悠樹(会長) CSコーディネーター 地域福祉施設長  
○津野 雄彦(副会長) 都立駒場高校副校長  
○樋爪 佳子 菅刈住区住民会議委員  
○北川 博康 地域青年部 元PTA会長  
○太田 宏 元学校評議委員  
○石井 宏治 第三学年保護者 PTA会長  
○五十嵐 美穂 第三学年保護者 PTA副会長

3 評価の結果等

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ●(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校運営協議会での意見
<b>I 学校全体について</b> ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎学年が上がるにつれ、生徒の自律した姿勢が成長している。 ◎四者全てで、90%を超え、高い数値を維持している。	・授業時数を確保し、行事の精選を進め、生徒が達成感・充実感を味わえるものにする。	・第一中のあたたかかい姿勢は継続してほしい。 ・教職員が一人ひとりの生徒を見取り、学校全体で生徒指導にあたっている。
<b>II 教育目標について</b> ・教育目標、時程、教育内容全体について	◎生徒の肯定的な評価が5ポイント向上した。教育内容の充実	・学校ホームページ及びホームアンドスクールにて保護者への	・学校の様子を今後は学校ウェブサイトなどでさらに公開して

	<p>を継続していく。</p> <p>●学校の取組について 情報提供等が足りな かったからか、保護 者の肯定的な評価が 70%台である。</p>	<p>情報提供を継続して いく。</p> <p>・生徒一人ひとりが学 習に意欲的に取り組 めるように授業改善 を継続していく。</p>	<p>いく。</p> <p>・第一中に対して地域 でできることを学校 運営協議会で検討し ていく。</p>
<p><b>Ⅲ 心の教育について</b></p> <p>・道徳科の授業の充実や 児童・生徒の道徳的実 践力の向上に向けた取 組について</p>	<p>◎教科書以外からも題 材を提供する等、普 段から工夫された授 業実践ができていた ためか、生徒・教職員 で90%を超える高 い数値を維持してい る。</p> <p>●心の教育について、 保護者の肯定的な評 価が12ポイント下 がった。保護者、 生徒、地域、教職員が 共通認識できる取り 組みを実践してい く。</p>	<p>・道徳の取組は工夫が あり、生徒の満足度も 高いが、さらに、教職 員の人権感覚の向上 に努め、保護者が生徒 を安心して任せられ る学校づくりを進め る。</p> <p>・生徒の実践的な取組 を周知していきたい。</p>	<p>・道徳授業地区公開講 座など、生徒、保護者、 地域、教職員が一度に 道徳教育にふれる場 を今後も継続してい く。</p> <p>・人権感覚を大切にす る教育活動に取り組 んでいく。</p>
<p><b>Ⅳ 学習指導等について</b></p> <p>・学力の定着・向上に向 けた授業の改善・充実、 習熟度別指導、〇〇タ イム、主体的に学習に 取り組む態度等の取組 について</p> <p>・職場体験等体験活動、 自然宿泊体験教室、 キャリア教育等の充実 について</p>	<p>◎少人数指導をはじめ 各教科で丁寧な指導 を重ねた成果か、肯 定的な評価が80% を超える高い数値を 維持している。</p>	<p>・45分授業の実践に おいて、引き続き授業 改善に取り組む。</p> <p>・英語科・数学科・理科 の少人数授業等丁寧 な指導を継続して成 果を上げていく。</p> <p>・学習用端末の効果的 な活用を推進してい く。</p>	<p>・第一中生の学習に向 かう姿勢は良いと思 う。タブレットを活用 した学びの場を今後 も増やす必要がある。</p> <p>・教科ごとの教室環境 の設定は良い。教科ご とにグループがかわ るなど、多くの友達 の考えに触れあう場 面が多くなっている。 コミュニケーション能 力も向上する。</p>
<p><b>Ⅴ 体育・健康教育につ いて</b></p>	<p>◎単元に合わせた補強 運動を必ず入れるこ</p>	<p>・体育の授業を軸に体 力向上、運動への意識</p>	<p>・プール、校庭、体育館 の環境改善が必要で</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上、健康の促進に向けた取組について</li> </ul>	<p>とが定着してきているので、生徒、教職員の肯定的な評価が90%台と高い数値を維持している。</p> <p>●生徒の運動への意識をさらに高めていく必要がある。</p>	<p>を高める取り組みを継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による主体的な取組を計画的に入れて楽しみながら体力の向上を目指す。</li> <li>・学校の取組を学校ウェブサイトなどで保護者に知らせる。</li> </ul>	<p>ある。スプリンクラーも老朽化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による部活動支援をさらに進めていきたい。</li> </ul>
<p><b>VI 特別活動について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて</li> </ul>	<p>◎学校の様子が少しずつ周知できたためか地域からの肯定的な評価が7ポイント上がった。</p> <p>●学校行事、委員会活動、学級活動などにおいて、生徒の自主性を向上させる取り組みを進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの部活動に対する肯定的な意見を受けて、部活動の活性化については可能な範囲で継続していく。</li> <li>・生徒の肯定的な評価が下がったが、90%台の高い数値を維持しているので可能な範囲で継続を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年を超えて生徒同士が交流している。部活動の取り組みが良いと思う。</li> <li>・花火大会など地域の行事への呼びかけを今後も継続していく。</li> </ul>
<p><b>VII 学校生活全般について</b></p> <p>&lt;生活指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて</li> </ul>	<p>◎朝のあいさつ活動などが定着しており、地域からの肯定的な評価が14ポイント向上した。</p> <p>◎学校ウェブサイトの更新を継続していく。</p> <p>●教職員の共通理解の充実を図っていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人から『一中は落ち着いていますね。』とお話をいただくことがある。今後も生徒一人ひとりの実態把握に努め、保護者、地域と連携して、あたたかい生活指導に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学校生活を送ることができている。</li> <li>・第三木曜日を軸に行っている朝のあいさつ活動の取り組みでは、地域の方と生徒とが顔と顔と合わせ、良い交流となっている。</li> </ul>
<p>&lt;防災教育・安全指導&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて</li> </ul>	<p>◎毎月の実践を通して、生徒、教職員の肯定的な評価が90%台の高い数値を維持している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、安全指導等生徒が真面目に取り組んでいる。今後も様々な震災を想定して、震災に備えていく。</li> <li>・学校ウェブサイトや</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携した避難訓練などを検討してはどうか。</li> </ul>

		学年だよりで保護者の理解を得られるようにする。	
<p>&lt;幼・保・小・中連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について</li> <li>・近隣の幼稚園・保育園との連携について</li> </ul>	◎小中連携をとおし、近隣校との連携を続けられている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が意欲的に挨拶運動に取り組んでいる。小学校での出前授業や第一中での部活動体験の内容について、小学校とさらに連携を深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと小学生、小学生の保護者へ第一中をアピールして生徒数を増やしてほしい。今後は第一中の良いところを小学校に伝えていきたい。</li> </ul>
<p><b>VIII 情報の発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の情報発信の充実について</li> </ul>	◎保護者、教職員の肯定的な評価が80%以上の高い数値となった。今後もホームページなどでの情報発信を継続し、多様な情報を伝えていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も第一中の現状を学校ホームページの更新のほか保護者等の理解を得られるように情報提供を推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による部活動のサポートなど、第一中の課題について、地域でできることは進めていきたい。</li> </ul>
<p><b>IX 教員の人材育成について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について</li> </ul>	◎少ない人員で役割分担をしているため、様々な業務への理解が進みやすく、肯定的な評価が94%と高い数値を維持している。前年より下がっているが日常的な人材育成を積み重ねていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科学年において、少人数で専門性や協働性の考えを大切に職務に当たる。</li> <li>・教育公務員として、公立学校で職務に当たる意義と共通認識及び共通実践していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数も少ないが、教職員の人数も少ない。年齢層の偏りのない、人事配置をお願いします。</li> </ul>
<p><b>X 教員の働き方改革について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について</li> </ul>	◎校務におけるICT機器の活用が進んでいる。 ●昨年より11ポイント下がった。今後は業務の集中化をなくし、分担・組織的な校務分掌体制を構築す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間外労働を減らし、仕事の割り振りを均一化させたいが、特定の人に偏りがちな傾向は改善できていない。教職員の意識改革と並行して進めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の指導や部活における試合の審判など、土曜日、日曜日とお休みなく部活で指導することは、無くしていきたい。今後は部活動のサポートを地域でできる方を探</li> </ul>

	る。		すなど、地域が学校をサポートしていく。
<b>XI サービス事故の防止について</b> ・サービス事故防止に向けた取組などについて	○実際のサービス事故の情報を共有し、サービス事故の防止について、共通認識を深めた。	・サービス事故研修時だけでなく、今後も実際に起きたサービス事故について共有認識を図り、新しい取り組みなどの共通実践につなげる。	・全国的に教員による事件が多いので、事故の防止に今後も万全な体制をとってほしい。